

小曾根 真 スーパー・カルテット

若き青春時代にボストンのバークリー音大に学び、
ニューヨークで出逢った
世界のトップスター4人が集結！

小曾根 真(ピアノ)

Makoto Ozone SUPER QUARTET

Featuring
Branford Marsalis
Christian McBride

Jeff "Tain" Watts

奇跡のライブが
ここに実現する――！

© Kazuyoshi Shimomura

クリスチャン・マクブライド(ベース)

ブランドン・フォード・マルサリス(サクソフォン)

ジェフ・"テイン"・ワッツ(ドラムス)

2023 5/17 (水) 19:00 開演 (18:20 開場) サントリーホール 大ホール

S 12,000円 A 10,000円 P ブロック 8,000円 U25 (25歳以下対象) 5,000円 (全席指定／消費税込)

一般発売
2/25(土)

チケット
予約

●サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017 suntoryhall.pia.jp/
●チケットぴあ t.pia.jp ●イープラス eplus.jp

主催:ヒラサ・オフィス 協力:ユニバーサル ミュージック

※未就学児のご入場はご遠慮ください。やむを得ない事情により、出演者が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。
※新型コロナウィルス感染予防対策にご協力ををお願いいたします。

アメリカ・バークリー音楽大学卒 豪華な奇跡の「同窓会」 彼らの立つ場所が、世界の最前線

神戸市に生まれ、幼き日より「天才」の渾名をほしいままにしていたピアニスト・小曾根真。彼が、アメリカはボストン、かの有名なバークリー音楽大学で学んだ盟友—世界最高峰のサクソフォン奏者でありプロデューサーでもあるマルサリス、ジャズの本場・ニューヨークのトップ・ドラマーとしての地位を確固たるものとする「オールマイティ・ドラム」の先駆け・ワッツ、さらに、彼らとニューヨークで出逢った、グラミー賞に8度輝くベーシストの権威であり教育者・マクブライド—いずれも世界的至宝と呼べるレベルのアーティストたちを率い、此処、芸術文化センターで実に10年ぶり奇跡の公演を開催する。かつて共に切磋琢磨した若き盟友たちが集結する貴重なステージ、このなんと希少なこと！豪勢なこと！

世界が注目する音楽シーンの最前線を、ぜひその目、その耳でご体感ください。

多彩な世界的ジャズ・ピアニスト

小曾根 真 [ピアノ]

Makoto Ozone, Piano

1983年バークリー音大を首席で卒業。同年米CBSと日本人初のレコード専属契約を結び、全世界デビュー。2003年グラミー賞ノミネート。パキート・デリヴェラ、ゲイリー・バートン、ブランフォード・マルサリスなど世界的なプレイヤーとの共演や、ビッグ・バンドの活動など、ジャズの最前線で活躍。また、NYフィル、サンフランシスコ響、NDRエルプフィルハーモニー管弦楽団など国内外のオーケストラとも共演を重ねる。2016年にはチック・コリアとNHK交響楽団定期演奏会に出演、また日本各地でデュオ公演を展開。2021年には還暦を迎え、「OZONE60」と題したプロジェクトを全国47都道府県で催行し成功を収めた。平成30年度紫綬褒章受章。



© Kazuyoshi Shimomura

世界最高峰のサクソフォン奏者

ブランフォード・マルサリス [サクソфон]

Branford Marsalis, Saxophone

1960年ニューオーリンズ生まれ。世界最高峰のサックス奏者。ピアニスト・教育者のエリス・マルサリスを父に持つ音楽一家の長男として、兄弟のウィントン、デルフィーヨ、ジェイソンと音楽に囲まれて育つ。バークリー音大で学んだ後、1986年に結成したブランフォード・マルサリス・カルテットで30年以上にわたり自身の音楽を発信、3度のグラミー賞に輝く。ソリストとしても世界中の名門オーケストラと共に演奏する一方、グレイタル・デッドやスティングらとも共演するなどジャンルを超える人気を確立。さらにブロードウェイや映画界にも進出するとともに教育者としても全米および海外で活動。ハリケーン・カトーナの後は地元ニューオーリンズの復興と発展に尽力し続けている。



© Eric Ryan Anderson

S
U
P
E
R
J
A
N
O
C
A
R
T
E

グラミー賞に8度輝く権威

クリスチャン・マクブライド [ベース]

Christian McBride, Bass

1972年生まれ。ベーシスト、作曲家、バンドリーダー。8度にわたりグラミー賞に輝く。ニューポート・ジャズ・フェスティバル、ニュージャージー・パフォーミング・アーツセンター、TDゲームス・ムーディ・ジャズ・フェスティバルそしてハーレムの国立ジャズ・ミュージアムで芸術監督を務めるとともに教育者としてもJazzHouse KiDSなどを推進している。精力的に国内外をツアードで飛び回る一方、NPRの“Jazz Night in America”への出演などラジオホストとしても高い人気を誇る。ジャズからR&B、ポップ、ロック、ヒップホップ、ネオソウル、そしてクラシック音楽まで多岐にわたる活動のなかで、いつも新たな高みに挑みチャレンジを続けている。



「オールマイティ・ドラム」の先駆け

ジェフ・"テイン"・ワッツ [ドラムス]

Jeff "Tain" Watts, Drums

1960年ピッツburgh生まれ。今日のジャズ界で最も多くのラブコールを受ける敏腕ドラマー。地元のデュケイン大学でクラシックのバーカッションを学んだ後にバークリー音大に進学。1981年ウィントン・マルサリス・カルテットに加入し、3度のグラミーに輝く。さらにジョージ・ベンソン、ハリー・コニックJr、マッコイ・タイナーら錚々たるミュージシャンらとも共演。1989年にはブランフォード・マルサリス・カルテットに加入、ミュージシャンとしてだけではなく俳優としても映画やテレビでも活躍する。比類のないテクニックとほどばしるスイング感、そして自身の音楽をしっかりと優雅に染み込ませるドラミングで、現在のジャズシーンに革新をもたらし続けている。



小曾根真を中心とするスーパー・カルテット、2013年の伝説のステージがライブ・アルバムとして発売決定！

A Night in Tokyo: Live at Bunkamura Orchard Hall 2013

1. エンカウンター 2. マイ・ウィッシュ・ブルー 3. レイジー・アンクル
4. テイク・ザ・テイン・トレイン 5. ホエア・ドゥ・ウィ・ゴー・フロム・ヒア？

★2013年12月12日、Bunkamuraオーチャードホールにてライヴ録音

All Songs Composed by Makoto Ozone

小曾根真(p) ブランフォード・マルサリス(ts, ss) ジェフ“テイン”ワッツ(ds)
クリスチャン・マクブライド(b)

2023.4.21 ON SALE

SHM-CD: UCCJ-2222

¥3,300 (tax in)

